

## 2016 年度自己評価及び学校関係者評価公表シート

### 桑園幼稚園

#### 1. 園の教育目標

ともに育ち、ともに生きる

#### 2. 2016 年度の重点目標・計画

- ①「ともに育ち、ともに生きる」者として、幼児の成長を支え、育ち合う関係となることを願い保育を行う。
- ②日々の生活の中で、子どもが神さまに愛されていることを感じ、安心と信頼を感じながら生活することができるように、保育者自身が祈りと感謝をもって保育する。
- ③保育者が幼児一人ひとりの人格、個性、育ちを尊重して保育を実践し、幼児が主体的に生きる力の基礎を育むことのできる保育を行う。
- ④保育者の持ち味を生かし、保育者集団としての力量を向上させる。

#### 3. 評価項目の達成および取り組み状況

区分	項目・内容	評価	理由・課題
1 教育課程 指導計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 園の建学精神や教育目標を理解している</li> <li>・ キリスト教保育指針の精神を理解し日常の保育に生かしている</li> <li>・ 幼稚園教育要領の精神趣旨を理解して日常の保育に生かしている</li> <li>・ 教育課程を理解し、指導計画を立てている</li> <li>・ 幼児の成長発達に適した環境構成をしている</li> <li>・ 安全で清潔感のある環境構成をしている</li> <li>・ 幼児の発想、自主性を取り入れ、季節に応じた楽しい環境構成をしている</li> <li>・ 保育実践の反省、評価を定期的実施し、次の保育と計画に生かしている</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育課程を基に、今年度の子どもたちに合わせて長期指導計画を立て、日常の保育を考えていった。</li> <li>・ 聖書を学び、キリスト教保育の理解を深め、保育に生かせるようにした。</li> <li>・ 保育後に、一日の保育を振り返り、自分自身で、担任同士で、また先輩保育者にアドバイスをもらいながら、次の保育に生かしていった。</li> </ul>
2 保育内容 幼児への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 園内に危険がないか、危険な遊びをしていないかを常に注意し、事故を未然に防ぐようにしている</li> <li>・ けがや事故の発生、体調不良の場合は直ちに園長に報告、家庭に連絡し適切な処置をしている</li> <li>・ 一人ひとりの幼児の発達の姿、課題などを総合的、多面的に観察し理解している</li> <li>・ 幼児と心を通わす関わりを心がけ、思いを受け止め、心情をも理解している</li> <li>・ 目立つ幼児の動きと同時に、目立たない幼児にも気を配っている</li> <li>・ 幼児の興味や関心、目線に共感しながら一緒に楽しく遊んでいる</li> <li>・ 幼児の話を誠実に聴き、わかりやすい言葉で話している</li> <li>・ 幼児をほめたり、励ましたり、意欲を持たせたりしている</li> <li>・ 禁止、命令、急がせるなどの言葉や態度はできるだけ控えている</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 視診を行い、普段と違う様子が見られたときには、園長や他の保育者に相談し、適切な処置を行い、家庭に丁寧に幼児の様子を伝えてきた。</li> <li>・ 教師の動きで連携が取れていないと感じたときには職員会議やその場で確認をしていった。</li> <li>・ 幼児の思いを受け止め、寄り添いながら少しずつ信頼関係を築けるようにしたが、自己主張の少ない幼児への配慮が足りなかったことが反省点である。広い視野をもって子どもと関われるようにしていきたい。</li> <li>・ 遊ぶ中で子どもたちの動きを把握しきれていなかったため、怪我をする事故が起きてしまったこと</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児同士のトラブル、対立などには適切な対応で解決している</li> <li>・ 幼児の一人ひとりについて保育者同士でクラスを越えて情報を共有し幼児に対応している</li> <li>・ 他のクラスの幼児と関わられるように遊びの形態などを工夫している</li> <li>・ 特別な支援を要する幼児に対しては教職員全員が理解し、専門機関などとの連携で適切な対応をしている</li> <li>・ 特別な支援を要する幼児の保育には保護者の願いや希望を理解し、相互の信頼に立って誠実に行っている</li> </ul>	<p>は反省である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもたちの意欲や自信につながるよう心掛けながら、ほめたり励ましたりすることができた。</li> <li>・ 他学年との交流の時間も作り、さまざまな友だちと交わる時間も大切にしてきた。</li> <li>・ 幼児の興味関心に共感し、心を響かせ合いながらともに楽しく過ごすことができた。</li> <li>・ 子どもたちの不安や緊張する気持ちを受け止めながら、安心して取り組めるように声をかけたり自分の体験談などを話す工夫をした。</li> <li>・ 子どもたちの言葉にならない思いを理解しようと努めた。</li> <li>・ 特別な支援を必要とする幼児に対して、地域の支援員の助言を聞き保育に活かしていくよう努めた。</li> <li>・ 特別な支援を必要とする子どもの保護者の気持ちの受け止めや共感に努め、丁寧なかかわりをもつよう心掛けた。</li> </ul>
<p>3 教師としての資質・能力・研修</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼稚園教諭としての専門知識や技能を高めようと意欲的に研修をしている</li> <li>・ 保護者に対して保育や幼児の様子などについてわかりやすく話し、親しみと信頼を得るよう努めている</li> <li>・ 表情を明るくし、元気な声での挨拶やお礼の言葉を心を込めて行なっている</li> <li>・ 服装、髪型、身だしなみなど保育に適切な清潔感を心がけている</li> <li>・ 職務上知り得たプライバシーに関する情報、園の内部の情報などについての秘密を守っている</li> <li>・ 公の金品、現金などの管理は間違えないよう正確に行っている</li> <li>・ 園の重要書類や教具、教材などは園外に持ち出さない</li> <li>・ 保育室はもちろん、園内外の清掃、整理整頓、施錠、火気の点検などを行っている</li> <li>・ 教職員全員で保育をしているひとつのチームであることを常に意識している</li> <li>・ 会議や研修の話し合いを大切にし、自分の意見を述べたり人の意見を聴いたりしている</li> <li>・ 話し合いの結果、決まったことには協力して実行している</li> <li>・ 決まった当番・役割分担については責任を持って実行している</li> <li>・ 保育や、保護者との関係での悩みや問題などは、早め</li> </ul>	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修会に積極的に参加し、職員会議で報告会を行うことでさらに学びを深め、保育の中で学びを実践していくようにした。</li> <li>・ 子ども、保護者が親しみを持てるよう笑顔で接し、安心感を持てるよう努めた。</li> <li>・ 職員会議では、他のクラスの幼児の様子を聴くだけでなく、自分自身も保育の中で他のクラスの園児にもしっかり目を向け、情報を共有できるようにした。</li> <li>・ 他の職員の保育への思いや意見をみんなで共有し、より良い保育ができるよう話し合いの場を大切に、述べたり聴くことができた。</li> <li>・ 礼拝の時間を大切にし、神さまとの対話を通して自分を振り返ったり、み言葉を受けて心の成長ができた。</li> <li>・ 保育についての悩みは、先輩の保育者や園長に相談するようになってきた。次年度も保育者間で連携を取りながら保育をしていく。</li> </ul>

	<p>に園長や主任に報告、連絡、相談をしている</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然や社会、芸術や文化に対して興味を持ち保育に生かしている</li> <li>・ 神様に対する畏敬と感謝の心を持ち、保育に喜びと使命を持っている</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 園児の特性を把握しきれず、危険が生じる恐れもあり反省している。保育者間で連携をしながら危険を繰り返さないよう配慮していく。</li> <li>・ 保育者としての服装、身だしなみを心がけていくことができた。研修などの場でも社会人として、園の一員として恥ずかしくない態度で参加したい。</li> <li>・ 幼稚園の情報やプライバシーに関することは外部に漏らさないように注意し、園の重要書類などは園内だけで取り扱うようにした。</li> <li>・ 施錠、火の始末などしっかりと確認し、管理していく。</li> </ul>
4 保 護 者 へ の 対 応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育についての考え、幼児の様子などを分かりやすく親しみを持って話し、伝えている</li> <li>・ 「子育て」についての諸々の悩みや相談に心を開いて対応できるように、電話や連絡帳、家庭訪問、懇談会などを積極的に活用している</li> <li>・ 「保護者と教師の会」などの主体性を大事にし、援助、協力、相談に応じている</li> <li>・ すべての保護者に対して偏見をもたず、保育者として社会人としてのマナーを守り、節度ある落ち着いた対応をしている</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保護者と関わる際には、笑顔も絶やさないようにし、幼児の様子をわかりやすく伝えられるように心がけた。</li> <li>・ 毎週の連絡帳で子どもたちの様子を伝えていたが、それに頼らず子どもたちの様子をもっと保護者に伝えるべきだったと感じた。</li> <li>・ 保護者の気持ちの安定を図ることが必要な家庭もあり、園児だけでなく保護者支援も心がけた。</li> <li>・ 悩みを抱えている保護者の話をよく聞き、受け止めてから一緒に子どもの育ちについて考えたり、幼稚園での様子を伝えるようにした。</li> </ul>
5 外 部 と の か か わ り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育所や小学校の保育や教育に関心を持って研修し幼稚園との連携の必要性を理解している</li> <li>・ 地域での「子育て支援」の大切さや内容に関心を持っている</li> <li>・ 「たんぼぼ広場」の大切さを理解し役割分担を積極的に行っている</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼保小連携については、研修に参加して学んだり、自分でも調べたりしながら、少しずつ理解を深められるようにしてきた。</li> <li>・ 小学校との連携は、こちらから小学校に働きかけることも必要だと思った。</li> <li>・ たんぼぼ広場を通して、子どもが楽しいと思える場、そして保護者の方が困っていることなどを話せる場となるように努めた。</li> <li>・ 一人の子どもの育ちをいろいろな機関や地域で考えていくことの大切さを感じた。</li> <li>・ 地域での「子育て支援」で、自分にできることを考えてきた。</li> </ul>

6 環 境 に 関 し て	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちの育ちにふさわしい環境について考え、環境整備を行っている。</li> <li>園庭、畑、花壇、砂場、樹木、遊具などが幼児にとってどのような意味を持つのかを理解し、保育に活用している</li> <li>草花、野菜、虫などの生き物の成長や季節の変化などを考慮し保育に生かしている</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然物を使った遊びを展開したり、季節に合った絵本を読むことで、子どもが自ら自然に興味をもてるように努めた。</li> <li>リサイクルについて子どもたちと一緒に考え活動することができた</li> <li>畑やプランターで野菜を育てることで成長に目を向け、育ててくださる神さまへの感謝を感じられるように子どもたちに伝えた。</li> <li>子どもたちが安らげる空間づくりを心がけた。</li> </ul>
7 そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>一年目ということで、先輩保育者の姿を見ながら学び、自分の保育に生かしていくことが多かった。クラスをまとめることと一人ひとりの心に寄り添うことのむずかしさを感じながらも、今の子どもたちに合った保育を追求してきた。</li> <li>一人ひとりの育ちに合った保育をしていくことや、友だちと関わる喜びをどう伝えていくかを考えてきたが、うまく伝えられないことも多かった。</li> <li>子どもたち一人ひとりが神さまに愛されている大切な存在であることを改めて確認した一年だった。</li> <li>子どもと共に喜び、泣いて、感情豊かに過ごせた一年だった。</li> <li>子どもたちの意見を取り入れながら活動できた一年であった。</li> <li>子どもたちの力を信じて任せることの大切さも感じた一年だった。</li> <li>いつでも子どもたちの心に温かく寄り添うことのできるキリスト教保育者になりたい。</li> </ul>		

#### 4. 財務状況

公認会計士監査、監事監査により、適正に運営されていると認められている。

#### 5. 安全管理

防火管理者、衛生管理者を置き、管理を行っている。

年3回の避難、防災訓練と、年2回の学校薬剤師による環境検査も行い、指摘事項なし。

現金やマイナンバーの管理など、より慎重に行っていく。

#### 5. 次年度の課題

課題	取り組み内容
保育者の資質向上と保育の充実	<p>保育者が多くの反省点を心に留めながらも、前向きに、喜びをもって保育を行っていかうとする姿勢が感じられる。</p> <p>新採用の保育者が多いこともあり、キリスト教保育についてともに学ぶことを大切にしたい。何よりもまず保育者自身が神さまからの御言葉、私たちに向けられているメッセージをしっかりと聴き、求めながら過ごしていきたい。この園で子どもたちと過ごせる喜びをより豊かに感じられる一年としたい。特に若い保育者は保育に自信が持てずにいることが感じられるので、チームとして協力し、支え合いながら、お互いの良さを認め合い、違いも恵みと受け止めながら、一人ひとりの資質向上と保育者集団の向上に努めていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日々の小さな情報や、キリスト教保育についても全員で共有し、同じ思いをもって保育を行っていくことを心がけたい。</li> </ul> <p>「ともに育ち、ともに生きる」の教育目標をいつも心に刻み、励まし合い、支え合い、育ちあう日々となるよう努力していきたい。</p>

保育環境の充実	園舎建設から40年が過ぎ、引き続き子どもが日々気持ちよく生活できるよう環境を整え、危険などのないように点検を行っていく。また、園舎内外の整理整頓、清掃などにも今まで以上に配慮していく。 保育者の目が行き届いた中で、ゆったりと子どものペースや育ちに合わせた保育が展開されていくよう人的環境も整えていく。
新制度への対応	新制度移行に伴い、まだまだ聞かなければわからないことも多く、事務作業も煩雑になっているので、協力しながら行っていく。 保育者にとっての環境は整えられていることを感じるが、保育の質を低下させないように、プラスの面をしっかりと子どもたちに返していけるようにしたい。

## 6. 学校評価委員会の総合的な評価結果

結 果	理 由
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い保育者も、親とは違う専門家の視点で子どもを見ていてくれると感じている。自信を持って保育をしてほしい。</li> <li>・新しい保育者が入ることで、保育者がより連携を取り、良い緊張感を持って保育していると感じた。</li> <li>・キリスト教保育による園生活や祈りを通して、子どもたちに感謝や思いやりの気持ちが育っていると感じる。</li> <li>・園生活を通して子どもたちに蒔かれる種が、いつか花開くことを信じ、保育を続けてほしい。</li> <li>・この地に建てられた幼稚園として、在園児、卒園児はもちろん、地域の子どもたちも神さまのお守りの中に招き受け入れ、大切に育てていくことのできる幼稚園であってほしい。</li> <li>・冬の雪山の安全、カラスなども含め、赤い実公園の利用には十分注意してほしい。</li> <li>・若い保育者が自信を持って保育が出来るように経験のある保育者は支え、若い保育者も経験のある保育者に学びながら保育に励んでほしい。</li> </ul>

### 評価について

A	・十分できている
B	・できている
C	・取り組まれているが十分ではない
D	・できていない